

検査技術学コース

評価基準表		科目: 技術卒業研究II		プログラム名: 保健学					
		検査コース学習教育目標							
		1, 臨床検査の専門家に必要な医学知識・医療技術を習得します。							
		2, 病因を解明するために有用な関連科学分野の知識・技術を習得します。							
		3, 臨床検査技師として、地域における保健医療問題の解決のための即応力を習得します。							
		4, 医療・健康関連分野で幅広く活躍するために医学知識・医療技術を生かした水平展開力を身につけます。							
		5, 医療の現場に求められるコミュニケーション力と協調性を身につけます。							
		6, グローバル時代の医療人に要求される語学力やITを活用した情報収集・発信力を習得します。							
		7, 社会人として、また医療分野のリーダーとして必要な見識や教養を身につけます。							
当該授業科目の達成目標	対応するプログラムの学習教育目標	URGCC学習教育目標	重みづけ (%)	F: Failure (0点)	D: Pass (1点)	C: Fair (2点)	B: Good (3点)	A: Excellent (4点)	
研究計画	研究テーマ、背景、目的、方法を決め、データ収集・部分析をすることができる。	1,2,3,4,5,6,7	自律性・社会性・地域・国際性・コミュニケーション・スキル・情報リテラシー・問題解決力・専門性	10		実施できた	指導のもとで標準的にできた	優れていた(自分で考えることができた)	目を見張るものがあった
研究の実施	調査・実験・まとめ	1,2,	自律性・問題解決力・専門性・情報リテラシー	20		できた	指導のもとで標準的にできた	優れていた(自分で考えることができた)	目を見張るものがあった
	情報収集と問題解決	1,2,3,4,5,6	自律性・社会性・地域・国際性・コミュニケーション・スキル・情報リテラシー・問題解決力・専門性	10		できた	指導のもとで標準的にできた	優れていた(自分で考えることができた)	目を見張るものがあった
研究のまとめと発表	カンファレンス	1,2,3,4,5,7	自律性・社会性・地域・国際性・コミュニケーション・スキル・情報リテラシー・問題解決力・専門性	10		時々欠席した	参加した	優れていた(自分で考えることができた)	カンファレンスを導く活動がみられた
	研究発表会	2,4,6,7	自律性・社会性・地域・国際性・コミュニケーション・スキル・情報リテラシー・問題解決力・専門性	20		発表した	指導のもとで標準的にできた	優れていた(自分で考えることができた)	目を見張るものがあった
	論文作成	1,2,3,4,5,6	自律性・社会性・地域・国際性・コミュニケーション・スキル・情報リテラシー・問題解決力・専門性	30		作成した	指導のもとで標準的にできた	優れていた(自分で考えることができた)	目を見張るものがあった
最終成績評価					F: Failure	D: Pass (1~1.5点)	C: Fair (1.5~2.5点)	B: Good (2.5~3.4点)	A: Excellent (3.5~4点)
					1項目Fがあるとき	1項目もFがない条件下で	1項目もFがない条件下で	1項目もFがない条件下で	1項目もFがない条件下で